

論 文

# 透析患者一事例における 看護カウンセリングの有効性の検討

岡安 敦子・湊谷 陽子・川崎久美子・今井 明美  
(金沢市立病院)

## The Effect of a Nurse's Counseling on a Hemodialysis Patient: A Case Study

Atsuko Okayasu, Youko Minatoya, Kumiko Kawasaki, Akemi Imai  
Kanazawa City Hospital

### 要 旨

本研究は、一事例に対して面接を行い、透析患者の自己効力を低くしている原因が、看護婦の対応にあるのか、またはそれ以外にあるのかを知ることが目的とした。

患者の自己効力を、透析患者の食事管理の自己効力尺度（以下 DMSES と略す）を用いて測定し、面接と DMSES により収集したデータから分析、検討した。

結果、DMSES に変化はみられず、また面接より、自己効力の低い原因は看護婦の対応ではないことがわかった。

患者の自己効力が低い理由を分析するなかから、自己効力にはその人の生き方や、人生観、今までの経験に基づく考え方が強く影響を及ぼしていることがわかった。